

# 自立活動学習指導案

授業日時 令和5年 月 日 ( )

対象 小学 年生 名

授業者

1 題材名 伝えたり、聞いたりしよう

2 児童の実態

本学習グループには、知的障がい学級に在籍する児童 名と、自閉症・情緒障がい学級に在籍する児童 名から編成されている。日常生活はほぼ自立しており、係活動や掃除など決められた役割に自分から取り組むことができる。また、休み時間には交流学級ではなく、本学級の教室で過ごすことがほとんどである。個々の児童の実態は次の通りである。

児童名	実態
A 児	(自閉症・情緒障がい学級在籍) ・ ひらがなやカタカナの読み書きが定着していないが、2年生になり、読める文字が増え、読むことへの意欲が高まっている。 ・ 語彙の少なさや経験不足により、同学年の児童と会話のチャンネルが合わず、自信を持って自分の思いを伝えることが苦手である。 ・ 関心の薄いことに関しては、教師や友達の話を理解しながら最後まで聞くことが難しい。 ・ 初めての活動や、やりたくない活動の時には、手遊びをしてなかなか取り組もうとしないが、見通しがもてると意欲的に活動することができる。
B 児	(知的障がい学級在籍) ・ 語彙が少なく、自分の思いや出来事を時系列で正確に伝えることが苦手である。 ・ 大勢の中では集中が途切れてしまい、指示を聞き逃すことがある。 ・ 気分の浮き沈みが激しく、気分が沈んでいる時には話しかけても返事をしないことがあるが、興味や自信がある活動では意欲的に意見を言おうとすることができる。
C 児	(知的障がい学級在籍) ・ 語彙の少なさや経験不足により、自分の思いを伝えたり、教師や友達の話を理解しながら聞いたりすることが苦手である。 ・ 課題に対して自分で考えて工夫することが難しいが、真面目に取り組むことができる。 ・ 授業中、教師や友達の話の正しい姿勢で聞くことはできているが、意味が理解できていないことがある。

D 児	<p>(自閉症・情緒障がい学級在籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動や日常生活で、見通しがもてると自発的に活動に参加することができる。</li> <li>・工作が好きで、アイデアを広げながら制作することができる。</li> <li>・人と話をするのは好きだが、会話が一方的になることがある。</li> <li>・友達との遊びの中で、自分にとって都合がよいように勝手にルールを変え、トラブルになることがある。</li> </ul>
E 児	<p>(自閉症・情緒障がい学級在籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくなり、気分が高揚すると衝動的に走り回ったり、強い力で友達にぶつかったりすることがある。</li> <li>・友達と関わるのが好きだが、自分の思い通りにいかないと叫んだり、物を投げたりすることがある。</li> <li>・言葉を文にして伝えたり、相手と会話のキャッチボールをしたりすることが苦手である。</li> <li>・視覚的に提示した方が情報を理解しやすい。</li> </ul>

### 3 題材設定の理由

本学習グループの児童は、障がいにより語彙が少なく、自分が好きなことや慣れている人には、思いを伝えることができるが、授業場面や慣れていない人には、自分の思いを相手に伝えることが難しい。また、語彙の少なさや聴覚から取り入れた言葉を処理し、文章として理解することの難しさから、相手の話を聞きながら理解することに課題をもっており、日常生活や学校生活において会話のキャッチボールが難しいことがある。

加えて、経験不足や断片的な理解であるため、先の見通しをもちにくく、集中できる時間も少なかったり、不安で学習意欲をもちにくかったりすることがある。

学校生活を送っていく上では、各教科の学習をはじめ、休み時間等様々な場面において、自分の思いを伝えたり、相手の話や思いを聞いたりする機会があり、今後の生活を考えると、必要な力であると考え。併せて、見通しをもって学習する経験は、授業に落ち着いて参加し、学びを進める上で大切なことである。

そこで、特別支援学級の低学年合同で行うハロウィンパーティーについての準備の学習内容を取り上げ、学習の中で、教師や友達と一緒にゲームをしたり、児童らが好きなタブレットを使って写真を撮ったりする活動を通して、教師や友達の話最後まで聞くことについて、話を聞く練習をしたり、できているところを称賛したりすることを通して、話を聞く姿勢を身に付けさせる。

この学習を通して、他者との関わり方に関するスキルを高めるとともに、日々の生活や交流学級でも友達と前向きに関わろうとする気持ちを育てたい。また、この活動を反復して学ぶことを通して、友達のことを知り、考えを認めたり、賛同することができるようになったり、さらには他者の良いところに気付いたりできるようになってほしい。以上のことを踏まえ、本題材を設定した。

#### 4 題材の目標

- ・見通しをもって活動することができる。(環境の把握)
- ・自分の考えを友達や教師に伝えることができる。(コミュニケーション)
- ・友達や教師の話を最後まで聞き、反応することができる。(コミュニケーション)
- ・自分で考えて工夫しようとするすることができる。(心理的な安定)

#### 5 指導計画

第一次 見つけたものを伝えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

第二次 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしよう・・・・・・・・

2時間 (本時1 / 2)

#### 6 本時の学習

##### (1) 全体目標

- ・見通しをもって活動に取り組むことができる。(環境の把握)
- ・自分の意見を最後まで言うことができる。(コミュニケーション)
- ・友達や教師の話を最後まで聞き、反応することができる。(コミュニケーション)

##### (2) 個別目標

児童名	本時の目標	関連する自立活動の内容
A 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動することができる。</li> <li>・質問カードを読むことができる。</li> <li>・質問の答えと理由を言うことができる。</li> <li>・友達の発表を最後まで聞き、リアクションボードを提示して反応することができる。</li> </ul>	2 - (2) 6 - (5) 6 - (2) 3 - (1)
B 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動することができる。</li> <li>・質問の答えと理由を言うことができる。</li> <li>・友達の発表を最後まで聞き、リアクションボードを提示して反応することができる。</li> </ul>	4 - (5) 6 - (2) 3 - (1)
C 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動内容を理解して活動することができる。</li> <li>・質問の答えと理由を言うことができる。</li> <li>・友達の発表を聞き、リアクションボードを提示して反応することができる。</li> </ul>	4 - (5) 6 - (2) 6 - (4)
D 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動することができる。</li> <li>・質問の答えと理由を言うことができる。</li> <li>・友達の発表を最後まで静かに聞き、リアクションボードを提示して反応することができる。</li> </ul>	2 - (2) 6 - (2) 3 - (1)

E 児	・見通しをもちながら、落ち着いて活動することができる。	2 - (2)
	・質問の答えと理由を言うことができる。	6 - (2)
	・友達の発表を最後まで静かに聞き、リアクションボードを提示して反応することができる。	6 - (4)

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時のめあてと学習の流れを確認する。	・本時の流れをホワイトボードに提示し、見通しをもてるようにする。	・見通しをもつことができたか。(全員)
ハロウィンパーティーの衣装を完成させよう。		
2 「お話ゲーム」をする。 ・発表者は前に出て、カードに書いてある質問の答えと理由を発表する。 ・聞き手は最後まで発表を聞いた後に、自分の気持ちに合ったリアクションボードを発表者に見せる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           ・ゲームのルールをスライドで提示する。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童が提示したスライドに注目するまで次の指示を出すのを待つ。</li> <li>・発表の手本の動画を見せる。</li> <li>・カードを読む際に、必要に応じて読むところを指さしする。</li> <li>・答えることが難しい場合は「パス」と言ってカードを選び直してもよいことを伝える。</li> <li>・自分の話を聞いてもらえる喜びを実感できるように言葉かけをする。</li> <li>・全体で聞く雰囲気を作るために、教師も頷きながら話を聞く。</li> <li>・友達の発表の途中で話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのルールを理解し、見通しをもつことができたか。(全員)</li> <li>・質問カードを読むことができたか。(A 児)</li> <li>・質問の答えと理由を言うことができたか。 (全員)</li> <li>・友達の発表を最後まで聞くことができたか。(全員)</li> <li>・リアクションボードをあげて反応することができたか。(全員)</li> </ul>

	<p>をしてしまった児童には、肩を軽くたたいて合図をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアクションボードを選ぶことができない児童には助言をする。</li> <li>・最後まで発表したり、聞いたりできた児童を称賛する。</li> </ul>	
<p>3 衣装に飾り付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飾り付けの際にマジックを使う時は、「貸してよ」「いいよ」など声をかけ合いながら使うよう言葉がけをする。</li> </ul>	
<p>4 完成した衣装を着て、タブレットで写真を撮り合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影の前に、友達に対し写真を撮るタイミングで「はい、チーズ」などの合図を伝えるよう伝える。</li> <li>・合図ができている児童を称賛する。</li> </ul>	
<p>5 本時のまとめをし、振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームでの良いところを伝えるように言葉がけをする。</li> <li>・「〇〇さんの〇〇している姿がよかったです。」と例文を示す。</li> <li>・日常の中でも相手の話を最後まで聞こうとする意欲を高めるようにする。</li> </ul>	